

1. 被用者保険でないのはどれか。

1. 健康保険
2. 船員保険
3. 共済組合
4. 国民健康保険

医療概論

2. 後期高齢者医療制度の財源について正しいのはどれか。

1. 高齢者の支払う保険料は全財源の1割である。
2. 他の医療保険者からの支援金はない。
3. 国および地方自治体の負担は全財源の8割である。
4. 75歳以上は保険料を免除される。

医療概論

3. 我が国の下水道行政について正しいのはどれか。

1. 都市下水路は雨水の排除を目的とする。
2. 流域下水道は汚染された河川の水を処理する。
3. 公共下水道は都道府県が管理する。
4. 全国民の9割以上が下水道を利用している。

衛生学

4. ダニ以外で媒介される疾患はどれか。

1. ツツガムシ病
2. 重症熱性血小板減少症候群
3. 日本脳炎
4. 日本紅斑熱

衛生学

5. 分母が人口でないのはどれか。

1. 出生率
2. 乳児死亡率
3. 婚姻率
4. 離婚率

衛生学

6. 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定保健指導において、積極的支援の対象者の判定に用いない検査項目はどれか。

1. 血圧
2. 血糖
3. HDLコレステロール
4. 肝機能

衛生学

7. 食中毒の対策として加熱処理が無効なのはどれか。

1. サルモネラ属
2. ブドウ球菌
3. カンピロバクター
4. ボツリヌス菌

衛生学

8. 五類感染症はどれか。

1. 急性灰白髄炎
2. 後天性免疫不全症候群
3. ジフテリア
4. 腸管出血性大腸菌感染症

衛生学

9. 体液を介して感染する疾患はどれか。

1. 腸チフス
2. B型肝炎
3. 破傷風
4. コレラ

衛生学

10. 我が国で予防接種が行われていないのはどれか。

1. 後天性免疫不全症候群
2. 水痘
3. 麻疹
4. 結核

衛生学

11. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で正しいのはどれか。

1. 施術者は鎮痛剤を投与できる。
2. 施術者は外科処置を行うことができる。
3. 施術所は臨検検査を受ける。
4. 施術所に関する広告の制限はない。

関係法規

12. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で、はり師、きゅう師として業務を開始できるのはどれか。

1. 試験に合格したとき
2. 合格証が発行されたとき
3. 免許の申請を行ったとき
4. 名簿に登録されたとき

関係法規

13. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で免許証の再交付申請ができるのはどれか。

1. 免許証を汚したとき
2. 氏名を変更したとき
3. 住所を変更したとき
4. 本籍地を変更したとき

関係法規

14. あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律で衛生上、害を生じるおそれがあると認めるとき、施術者に対して必要な指示ができるのはどれか。

1. 医師
2. 保健所長
3. 都道府県知事
4. 厚生労働大臣

関係法規

15. 腹膜を形成する上皮で正しいのはどれか。

1. 移行上皮
2. 円柱上皮
3. 線毛上皮
4. 扁平上皮

解剖学

16. 発生について正しいのはどれか。

1. 受精は子宮内で起こる。
2. 着床は胚盤胞の段階で起こる。
3. 受精後4週目以降を胎児と呼ぶ。
4. 胎児の臍動脈と母体の子宮動脈はつながっている。

解剖学

17. 頭蓋の骨で茎状突起があるのはどれか。

1. 頬骨
2. 上顎骨
3. 側頭骨
4. 蝶形骨

解剖学

18. 腹部の筋について正しいのはどれか。

1. 浅鼠径輪は鼠径靭帯の下に開く。
2. 白線は腹直筋鞘が正中で合してつくられる。
3. 精巣挙筋は外腹斜筋の最下端部の筋束よりなる。
4. 鼠径靭帯は内腹斜筋の停止腱膜の肥厚したものである。

解剖学

19. 上肢の伸筋支帯下の6つの管と通過する腱との組合せで正しいのはどれか。

1. 第1管——長母指伸筋の腱
2. 第2管——長母指外転筋の腱
3. 第4管——短母指伸筋の腱
4. 第5管——小指伸筋の腱

解剖学

20. 腸脛靭帯について正しいのはどれか。

1. 下前腸骨棘に付着する。
2. 大殿筋が停止する。
3. 大腿の内側面にある。
4. 下腿筋膜が肥厚したものである。

解剖学

21. 喉頭の軟骨のうち対をなすのはどれか。

1. 喉頭蓋軟骨
2. 甲状軟骨
3. 披裂軟骨
4. 輪状軟骨

解剖学

22. 腎臓について誤っているのはどれか。

1. 脂肪被膜で包まれる。
2. 右腎は左腎より低い。
3. 腎小体は糸球体とボーマン嚢からなる。
4. 傍糸球体細胞からアルドステロンが分泌される。

解剖学

23. 顎動脈の枝はどれか。

1. 中硬膜動脈
2. 顔面動脈
3. 後頭動脈
4. 舌動脈

解剖学

24. 上肢の動脈の経路について正しいのはどれか。

1. 橈骨動脈は手根管を通る。
2. 腋窩動脈は外側腋窩隙を通る。
3. 上腕動脈は内側上腕二頭筋溝を通る。
4. 尺骨動脈は上腕骨内側上顆の後ろを通る。

解剖学

25. 下大静脈に直接注がないのはどれか。

1. 肝静脈
2. 腎静脈
3. 脾静脈
4. 腰静脈

解剖学



26. 内包が通るのはどれか。

1. 尾状核とレンズ核の間
2. 淡蒼球と被殻の間
3. 被殻と前障の間
4. 前障と島の間

解剖学

27. 舌咽神経と関連するのはどれか。

1. 毛様体神経節
2. 翼口蓋神経節
3. 顎下神経節
4. 耳神経節

解剖学

28. 腕神経叢の後神経束から分かれるのはどれか。

1. 横隔神経
2. 長胸神経
3. 胸筋神経
4. 胸背神経

解剖学

29. 腰神経叢の枝で筋裂孔を通るのはどれか。

1. 陰部大腿神経
2. 外側大腿皮神経
3. 腸骨下腹神経
4. 閉鎖神経

解剖学

30. 眼について正しいのはどれか。

1. 黄斑の中央部を視神経円板という。
2. 水晶体と虹彩の間の空間を前眼房という。
3. 角膜と強膜の境界部にシュレム管がある。
4. 網膜の色素上皮層は単層円柱上皮よりなる。

解剖学

31. RNAが多く含まれる細胞小器官はどれか。

1. ゴルジ装置
2. ミトコンドリア
3. リソソーム
4. 粗面小胞体

生理学

32. ピルビン酸の分解で生じないのはどれか。

1. ATP
2. 二酸化炭素
3. 尿素
4. 水

生理学

33. 心房から心室への伝導時間を表す心電図成分はどれか。

1. PQ時間
2. QT時間
3. PP間隔
4. RR間隔

生理学

34. 過換気で起こるのはどれか。

1. 動脈血酸素分圧の低下
2. 動脈血二酸化炭素分圧の上昇
3. 血漿重炭酸イオン濃度の増加
4. 血漿水素イオン濃度の減少

生理学



35. 小腸上皮から吸収後、中心乳び管に入るのはどれか。

1. グルコース
2. アミノ酸
3. 中性脂肪
4. ビタミンB1

生理学

36. ペプチド結合を有する物質はどれか。

1. 脂質
2. 炭水化物
3. 蛋白質
4. ビタミン

生理学

37. 体温調節中枢について正しいのはどれか。

1. 核心温度の変化を感受する。
2. セットポイントの下降により発熱が起こる。
3. 中枢は延髄にある。
4. プロゲステロンは体温を低下させる。

生理学

38. 糸球体におけるろ過の原動力はどれか。

1. 糸球体血圧
2. ボーマン嚢内圧
3. 血漿膠質浸透圧
4. ボーマン嚢内液の膠質浸透圧

生理学

39. ノルアドレナリンの方がアドレナリンより作用が強いのはどれか。

1. 気管支拡張
2. 血圧上昇
3. 血糖値上昇
4. 心収縮力増大

生理学

40. 退縮するのはどれか。

1. 肝臓
2. 腎臓
3. 脾臓
4. 胸腺

生理学

41. 運動野があるのはどれか。

1. 前頭葉
2. 頭頂葉
3. 後頭葉
4. 側頭葉

生理学

42. 骨格筋の収縮時にカルシウムイオンと結合するのはどれか。

1. アクチン
2. クレアチン
3. トロポニン
4. ミオシン

生理学

43. 大脳基底核の働きはどれか。

1. 感覚の中継
2. 血糖の調節
3. 姿勢の制御
4. 唾液分泌の調節

生理学

44. 光の刺激により縮瞳が起こる機序で正しいのはどれか。

1. 毛様体筋の収縮
2. 瞳孔括約筋の収縮
3. 上斜筋の収縮
4. 外側直筋の収縮

生理学

45. ミネラルの異常と病態との組合せで正しいのはどれか。

1. カルシウム過剰———テタニー
2. 鉄過剰———ヘモクロマトーシス
3. カリウム不足———ウイルソン病
4. 銅不足———くる病

病理学

46. 左心不全によって肺に最も生じやすいのはどれか。

1. 充血
2. うっ血
3. 塞栓
4. 梗塞

病理学

47. 臓器の移植に関する法律における脳死判定で誤っているのはどれか。

1. 移植医が判定する。
2. 急性薬物中毒による深昏睡は除外される。
3. 自発呼吸は停止している。
4. 判定は2回行う。

病理学

48. クラインフェルター症候群の性染色体はどれか。

1. X
2. XXX
3. XXY
4. XYY

病理学

49. 扁平上皮癌が好発するのはどれか。

1. 食道
2. 胃
3. 小腸
4. 大腸

病理学

50. 出血性炎はどれか。

1. カタル性鼻炎
2. 上気道ジフテリア
3. インフルエンザ肺炎
4. 歯槽膿漏

病理学

51. 抗原に対する初回の反応で最初に増加する免疫グロブリンはどれか。

1. IgA
2. IgE
3. IgG
4. IgM

病理学

52. 糖尿病性昏睡時にみられるのはどれか。

1. チェーン・ストークス呼吸
2. クスマウル呼吸
3. ビオー呼吸
4. 口すぼめ呼吸

臨床医学総論

53. 血漿膠質浸透圧低下による浮腫がみられるのはどれか。

1. うっ血性心不全
2. 肝硬変
3. 癌性胸膜炎
4. フィラリア症

臨床医学総論

54. 吐血の原因となるのはどれか。

1. 大腸癌
2. クローン病
3. 気管支拡張症
4. 胃潰瘍

臨床医学総論

55. 発疹がみられるのはどれか。

1. ベーチェット病
2. パーキンソン病
3. メニエール病
4. アルツハイマー病

臨床医学総論

56. 徒手検査と検査対象との組合せで正しいのはどれか。

1. ヤーガソンテスト———上腕三頭筋腱
2. K・ボンネットテスト———大腿神経
3. パトリックテスト———股関節
4. ラックマンテスト———膝後十字靭帯

臨床医学総論

57. リンパ節の圧痛がよくみられるのはどれか。

1. 悪性リンパ腫
2. 白血病
3. 伝染性単核球症
4. 化膿性リンパ節炎

臨床医学総論

58. 鉛管現象と関係が深いのはどれか。

1. 錐体路
2. 脊髄後索
3. 大脳基底核
4. 小脳

臨床医学総論

59. 最も重い意識障害はどれか。

1. 昏睡
2. 嗜眠
3. 昏迷
4. 傾眠

臨床医学総論

60. 徴候と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ティネル徴候陽性———総腓骨神経麻痺
2. ペインフルアーク徴候陽性———胸郭出口症候群
3. トレンデレンブルグ徴候陽性———腰椎椎間板ヘルニア
4. アリス徴候陽性———変形性膝関節症

臨床医学総論

61. 装具と疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ポストブレース———変形性頸椎症
2. リーメンビューゲル装具———先天性股関節脱臼
3. デニスブラウン副子———扁平足
4. フォンローゼン装具———ペルテス病

臨床医学総論

62. 膵癌について正しいのはどれか。

1. 膵体部に好発する。
2. 内分泌腫瘍が多い。
3. 膵尾部癌では早期に症状が現れる。
4. CA19-9は診断的価値が高い。

臨床医学各論

63. デュシェンヌ型筋ジストロフィーについて正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 関節の拘縮のため踵足になる。
3. ガワーズ徴候がみられる。
4. 血清CK値は正常である。

臨床医学各論

64. 肺結核について正しいのはどれか。

1. 接触感染の頻度が高い。
2. 一次結核症の頻度が高い。
3. クオンティフェロン法は診断に用いられる。
4. 糖尿病合併患者では再発率が低い。

臨床医学各論

65. 急性心筋梗塞の検査項目で最も有用性が高いのはどれか。

1. 赤血球数
2. コリンエステラーゼ
3. トロポニンT
4. ALP

臨床医学各論

66. 全身性硬化症(強皮症)でみられるのはどれか。

1. 出血傾向
2. ブドウ膜炎
3. 肺線維症
4. リンパ節腫脹

臨床医学各論

67. アトピー性皮膚炎について誤っているのはどれか。

1. II型アレルギーである。
2. 季節により症状が変動しやすい。
3. 気管支喘息と合併しやすい。
4. 家系内発症がみられやすい。

臨床医学各論

68. 関節疾患について正しいのはどれか。

1. 関節拘縮の原因は関節包内の骨・軟骨にある。
2. 変形性関節症は退行変性である。
3. 関節リウマチの原因は細菌である。
4. 関節強直の原因は関節包外の軟部組織にある。

臨床医学各論

69. 疾患と徒手検査との組合せで正しいのはどれか。

1. 上腕骨外側上顆炎——チエアテスト
2. 胸郭出口症候群——スピードテスト
3. 手根管症候群——ライトテスト
4. 腱板炎——ファレンテスト

臨床医学各論

70. 緑内障でみられるのはどれか。

1. 結膜の炎症
2. 眼球の陥凹
3. 水晶体の混濁
4. 視野の障害

臨床医学各論

7 1. 腎疾患と所見との組合せで正しいのはどれか。

1. 急性糸球体腎炎——低血圧
2. ネフローゼ症候群——低コレステロール血症
3. 急性腎不全——代謝性アシドーシス
4. 慢性腎不全——低リン血症

臨床医学各論

7 2. メルゼブルクの三主徴でないのはどれか。

1. 発汗過多
2. 頻脈
3. 眼球突出
4. 甲状腺腫大

臨床医学各論

7 3. 原発性アルドステロン症でみられるのはどれか。

1. 高マグネシウム血症
2. 低ナトリウム血症
3. アシドーシス
4. 血漿レニン活性低値

臨床医学各論

7 4. 骨疾患と好発時期との組合せで正しいのはどれか。

1. くる病——小児期
2. 骨肉腫——老年期
3. 転移性骨腫瘍——青年期
4. 骨粗鬆症——思春期

臨床医学各論

7 5. 症候群と神経との組合せで正しいのはどれか。

1. 肘部管症候群——橈骨神経
2. 手根管症候群——正中神経
3. 梨状筋症候群——大腿神経
4. 足根管症候群——総腓骨神経

臨床医学各論

7 6. 外反母趾について正しいのはどれか。

1. 凹足に発症することが多い。
2. 足の内在筋の弱化は認めない。
3. 第1中足趾節関節は上方に突出する。
4. バニオンは滑液包の腫脹である。

臨床医学各論

7 7. 「26歳の男性。全身倦怠感を主訴に来院した。視診上、黄疸を認め、ウイルスマーカー検査ではIgM-HA抗体陽性、HBs抗原陰性、HCV-RNA陰性であった。」感染の原因として最も考えられるのはどれか。

1. ハンバーガー
2. いずし
3. 生ガキ
4. 鶏生肉

臨床医学各論

7 8. 「26歳の男性。全身倦怠感を主訴に来院した。視診上、黄疸を認め、ウイルスマーカー検査ではIgM-HA抗体陽性、HBs抗原陰性、HCV-RNA陰性であった。」本疾患で正しいのはどれか。

1. 発熱を前駆症状として発症する。
2. インターフェロン療法が有効である。
3. 慢性化する。
4. 輸血によっても発症する。

臨床医学各論



79. 「58歳の女性。数年前から左手の第4指の近位指節間関節の腫脹に気がついた。特に疼痛はなかったが、今年になって右手の第4指近位指節間関節の腫脹もみられるようになった。」本疾患について適切でないのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 家族歴がある。
3. 皮下結節がみられる。
4. 骨棘形成がみられる。

臨床医学各論

80. 「58歳の女性。数年前から左手の第4指の近位指節間関節の腫脹に気がついた。特に疼痛はなかったが、今年になって右手の第4指近位指節間関節の腫脹もみられるようになった。」本患者の治療で有効なのはどれか。

1. 非ステロイド系抗炎症薬
2. カルシトニン
3. ビタミンD製剤
4. ビタミンB6

臨床医学各論

81. 特発性三叉神経痛について正しいのはどれか。

1. 若年者に多い。
2. 前駆症状を伴う。
3. 罹患枝は第2枝が多い。
4. 痛みは持続的である。

臨床医学各論

82. 片頭痛について正しいのはどれか。

1. 50歳代に多い。
2. 閃輝暗点がみられる。
3. 痛みは非拍動性である。
4. 入浴が有効である。

臨床医学各論

83. メニエール病の症状としてみられないのはどれか。

1. 耳漏
2. 耳鳴り
3. 難聴
4. 眩暈

臨床医学各論

84. 国際生活機能分類(ICF)の構成要素で「参加」に該当するのはどれか。

1. 屋内手すりの設置
2. 短下肢装具の作製
3. 残存筋の強化
4. 麻痺手の回復訓練

リハビリテーション医学

85. 小脳性失調の所見として正しいのはどれか。

1. 構音障害
2. 羽ばたき振戦
3. はさみ脚歩行
4. ロンベルグ徴候陽性

リハビリテーション医学

86. ADL評価のFIMにおいて正しいのはどれか。

1. 書字の項目がある。
2. 認知項目がある。
3. 各項目の点数は0点から10点である。
4. 総点は100点である。

リハビリテーション医学



87. 片麻痺患者が使う自走式車いすで両手駆動から変更すべき構造はどれか。

1. 駆動輪の直径を小さくする。
2. 座面の高さを低くする。
3. 背もたれの高さを低くする。
4. 麻痺側のブレーキレバーを短くする。

リハビリテーション医学

88. 強制呼気に作用する筋で正しいのはどれか。

1. 胸鎖乳突筋
2. 大胸筋
3. 横隔膜
4. 内肋間筋

リハビリテーション医学

89. 脳卒中のリハビリテーション中に起こる骨折の特徴で正しいのはどれか。

1. 健側下肢が多い。
2. 抗血栓剤の内服で起こりやすい。
3. 半側空間無視の合併で起こりやすい。
4. 失語症の合併で起こりやすい。

リハビリテーション医学

90. 脊髄損傷患者に生じる自律神経過反射で正しいのはどれか。

1. 腰髄損傷患者に生じる。
2. 起立性低血圧を生じる。
3. 尿の膀胱内貯留が誘因となる。
4. 損傷部位以下の反射が消失する。

リハビリテーション医学

91. 活動性が高い下腿切断患者に適した義足の足継手はどれか。

1. 固定足
2. 単軸足
3. 多軸足
4. エネルギー蓄積型足

リハビリテーション医学

92. 血の説明で正しいのはどれか。

1. 衛気と共に脈中を流れる。
2. 生成に営気が関与する。
3. 量は脾が調節する。
4. 温煦作用により循環する。

東洋医学概論

93. 臓腑とその作用との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝——— 納気を主る
2. 大腸——— 清濁を分別する。
3. 脾——— 昇清を主る。
4. 膀胱——— 糟粕を伝化する。

東洋医学概論

94. 中焦の生理機能と関係の深いのはどれか。

1. 脾
2. 肺
3. 腎
4. 肝

東洋医学概論

95. 奇恒の腑はどれか。

1. 胃
2. 肝
3. 脾
4. 胆

東洋医学概論

96. 外邪の特徴で正しいのはどれか。

1. 暑邪は肺を傷る。
2. 湿邪は身体下部を侵す。
3. 燥邪は体表を侵す。
4. 風邪は津液を消耗する。

東洋医学概論

97. 運行が失調すると鼓脹を認めるのはどれか。

1. 営気
2. 衛気
3. 血
4. 津液

東洋医学概論

98. 肝陽の上亢によるのはどれか。

1. 胖大舌
2. 吃逆
3. 顔面紅潮
4. 小腹急結

東洋医学概論

99. 心気虚、心陽虚に共通する症状はどれか。

1. 無汗
2. 心悸
3. 回転性めまい
4. 四肢の冷え

東洋医学概論

100. 統血作用の失調でみられるのはどれか。

1. 秘結
2. 崩漏
3. 陽萎
4. 帯下

東洋医学概論

101. 痺証で重だるい痛みはどれか。

1. 行痺
2. 痛痺
3. 着痺
4. 熱痺

東洋医学概論

102. 次の文で示す経脈病証はどれか。「首が腫れ、後ろを振り返ることができない。難聴があり、上肢後面内側が痛む。」

1. 手の太陽小腸経
2. 手の陽明大腸経
3. 手の太陰肺経
4. 手の少陰心経

東洋医学概論

103. 心・心包の病証で多くみられるのはどれか。

1. 裏急
2. 胸脇苦満
3. 心下痞鞭
4. 小腹急結

東洋医学概論

104. 難経六十九難の治療法則で肝虚証の治療穴はどれか。

1. 曲泉
2. 大敦
3. 太衝
4. 中封

東洋医学概論

105. 迎隨の補瀉で補法はどれか。

1. 太淵穴では肘関節に向けて刺す。
2. 外関穴では手関節に向けて刺す。
3. 足臨泣穴では足関節に向けて刺す。
4. 三陰交穴では膝関節に向けて刺す。

東洋医学概論

106. 所属経脈が表裏関係にあるのはどれか。

1. 手三里と足三里
2. 足通谷と腹通谷
3. 頭臨泣と足臨泣
4. 腰陽関と膝陽関

経絡経穴概論

107. 経脈間の接続とその部位との組合せで正しいのはどれか。

1. 小腸経から膀胱経——鼻翼外方
2. 脾経から心経——側胸部
3. 腎経から心包経——心中
4. 三焦経から胆経——外眼角

経絡経穴概論

108. 小円筋、肩甲挙筋、胸鎖乳突筋のすべてを流注するのはどれか。

1. 手の太陽経
2. 手の少陰経
3. 手の少陽経
4. 足の陽明経

経絡経穴概論

109. 足の陽明経の郄穴の部位はどれか。

1. 薄筋と縫工筋の間
2. 縫工筋と長内転筋の間
3. 大腿二頭筋と半腱様筋の間
4. 外側広筋と大腿直筋腱の間

経絡経穴概論

110. 骨度が最も短いのはどれか。

1. 大陵から間使
2. 建里から腹哀
3. 外果尖から懸鍾
4. 前髪際から承光

経絡経穴概論

111. 経穴部位で誤っているのはどれか。

1. 和髎は頬骨弓後端の上縁にある。
2. 肘髎は上腕骨外側上顆上際の前縁にある。
3. 次髎は仙骨部で上後腸骨棘の頂点の高さにある。
4. 肩髎は肩峰角と上腕骨大結節の間にある。

経絡経穴概論

112. 経穴で同じ高さに並ぶのはどれか。

1. 眉衝と本神
2. 脳戸と絡却
3. 水突と扶突
4. 風門と陶道

経絡経穴概論

1 1 3. 玉堂と同じ高さにあるのはどれか。

1. 神封
2. 乳根
3. 靈墟
4. 庫房

経絡経穴概論

1 1 4. 肩甲骨上角の上方陥凹部に位置するのはどれか。

1. 曲垣
2. 肩外兪
3. 天膠
4. 肩井

経絡経穴概論

1 1 5. 取穴法で正しいのはどれか。

1. 支正は陽谷の上方4寸に取る。
2. 三陽絡は陽池の上方4寸に取る。
3. 温溜は陽溪の上方4寸に取る。
4. 孔最是太淵の上方4寸に取る。

経絡経穴概論

1 1 6. 経穴と動脈との組合せで正しいのはどれか。

1. 足五里———大腿動脈
2. 合谷———尺骨動脈
3. 豊隆———後脛骨動脈
4. 聴会———顔面動脈

経絡経穴概論

1 1 7. 五要穴で急性症状に用いるのはどれか。

1. 孔最
2. 列欠
3. 太淵
4. 魚際

経絡経穴概論

1 1 8. 骨会はどれか。

1. 肩中兪
2. 大杼
3. 跗陽
4. 三陰交

経絡経穴概論

1 1 9. 乗り物酔いで吐き気を訴える患者に対して、八脈交会穴を用いる場合に適切なのはどれか。

1. 列欠
2. 後溪
3. 外関
4. 内関

東洋医学臨床論

1 2 0. 逆子の灸としてよく用いる膀胱経の要穴はどれか。

1. 井穴
2. 合穴
3. 原穴
4. 募穴

東洋医学臨床論

1 2 1. 痛みの性質と治療方針との組合せで最も適切なのはどれか。

1. 酸痛———湿を除く
2. 隠痛———熱を除く
3. 刺痛———気を補う
4. 脹痛———血を補う

東洋医学臨床論

1 2 2. 痛む所が定まらない患者に対し、その部位を追いかけて次々と繰り返し刺鍼する十二刺はどれか。

1. 短刺
2. 偶刺
3. 報刺
4. 輸刺

東洋医学臨床論

1 2 3. 次の患者が示す症状に対し難経六十九難の治療法を用いる場合、適切な経穴はどれか。「55歳の女性。仕事の悩みから食欲不振が始まり、疲れやすく手足に力が入らない。脈は細。」

1. 隠白
2. 大都
3. 太白
4. 公孫

東洋医学臨床論

1 2 4. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として最も適切なのはどれか。「18歳の女性。2週間前から耳鳴りがする。大学受験のため不安とイライラで情緒不安定となっている。顔が紅潮し、口が苦く咽の渇きを訴える。舌質は紅、脈は弦数。」

1. 血を補う
2. 陽気を補う
3. 痰湿を除く
4. 肝火を除く

東洋医学臨床論

1 2 5. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として適切なのはどれか。「58歳の女性。数年前から手足の冷えて悩んでいる。症状は雨の日にひどくなる。膝の重だるい痛みが常にある。舌苔は白膩。脈は濡。」

1. 気滞を除く
2. 瘀血を除く
3. 腎陰を補う
4. 脾陽を補う

東洋医学臨床論

1 2 6. 次の文で示す患者の病証に対する治療方針として除くべき外邪はどれか。「55歳の男性。風が強く吹く天候の中、ここ数日屋外で仕事をしていたら右上肢に痛みが出た。痛みは右の肩や肘、手首など定まっていない。疼痛部に冷えはない。舌苔は薄、脈は浮。」

1. 寒邪
2. 風邪
3. 湿邪
4. 熱邪

東洋医学臨床論

1 2 7. 徒手検査所見と罹患部への治療穴との組合せで適切なのはどれか。

1. ファレンテスト陽性——陽池
2. トムゼンテスト陽性——間使
3. グラスピングテスト陽性——膝陽関
4. K・ボンネットテスト陽性——大腸俞

東洋医学臨床論

1 2 8. スポーツ障害と局所治療穴との組合せで最も適切なのはどれか。

1. ジャンパー膝——犢鼻
2. ランナー膝——三陰交
3. シンスプリント——陽陵泉
4. フットボールアングル——膝関

東洋医学臨床論



129. 絞扼部への治療穴として照海穴が最も適切なのはどれか。

1. 腓腹神経絞扼神経障害
2. ギヨン管症候群
3. 足根管症候群
4. モートン病

東洋医学臨床論

130. 局所治療穴として気戸穴が最も適切となる徒手検査所見はどれか。

1. モーリーテスト陽性
2. エデンテスト陽性
3. スパーリングテスト陽性
4. ヤーガソンテスト陽性

東洋医学臨床論

131. 鶏歩を呈する患者に対する麻痺筋への低周波鍼通電療法を行う部位で適切なのはどれか。

1. 足三里と豊隆
2. 伏兔と梁丘
3. 漏谷と三陰交
4. 合陽と承山

東洋医学臨床論

132. 次の文で示す患者の頭痛発作時に対する治療方針として最も適切なのはどれか。「27歳の女性。最近、仕事が忙しくなり残業が続いている。時々、拍動性の頭痛が数時間から1日続く。発作には前兆があり羞明を伴う。医療機関を受診したが、器質的病変はみられなかった。」

1. 側頭筋の緊張を改善する。
2. 頭蓋外血管を収縮させる。
3. 頸椎のROMを広げる。
4. 大後頭神経支配領域の疼痛閾値を上げる。

東洋医学臨床論

133. 「53歳の男性。3か月前から右腰下肢の痛みを感じる。右膝蓋健反射の減弱と下腿内側に知覚鈍麻がみられる。整形外科にて腰椎椎間板ヘルニアと診断されている。」認められる徒手検査所見はどれか。

1. ニュートンテスト陽性
2. トーマステスト陽性
3. ブラガードテスト陽性
4. パトリックテスト陽性

東洋医学臨床論

134. 「53歳の男性。3か月前から右腰下肢の痛みを感じる。右膝蓋健反射の減弱と下腿内側に知覚鈍麻がみられる。整形外科にて腰椎椎間板ヘルニアと診断されている。」施術対象となる神経根で最も適切なのはどれか。

1. L3神経根
2. L4神経根
3. L5神経根
4. S1神経根

東洋医学臨床論

135. 「35歳の女性。4年前からレイノー現象が出現し、最近では朝のこわばり、皮膚の硬化もみられるようになった。抗Scl-70抗体陽性。」本疾患でみられる所見はどれか。

1. ボタン穴変形
2. 鷲手
3. ヘバーデン結節
4. ソーセージ様指

東洋医学臨床論



136. 「35歳の女性。4年前からレイノー現象が出現し、最近では朝のこわばり、皮膚の硬化もみられるようになった。抗Scl-70抗体陽性。」レイノー現象に対して局所への低周波鍼通電療法を行う部位で最も適切なのはどれか。

1. 諤譚と魂門
2. 浮郄と合陽
3. 液門と三間
4. 承光と絡却

東洋医学臨床論

137. 「35歳の女性。1年前からめまい発作に苦しんでいる。めまいは、回転性で悪心・嘔吐を伴うこともある。他に難聴、耳鳴り、耳閉感がみられる。グリセロール検査陽性。舌診では胖大舌、白膩苔、脈は滑を呈した。」本症例の所見として最も適切なのはどれか。

1. 感音性難聴
2. 特定の頭位によるめまい発作
3. 失調性歩行
4. 温度眼振検査反応陽性

東洋医学臨床論

138. 「35歳の女性。1年前からめまい発作に苦しんでいる。めまいは、回転性で悪心・嘔吐を伴うこともある。他に難聴、耳鳴り、耳閉感がみられる。グリセロール検査陽性。舌診では胖大舌、白膩苔、脈は滑を呈した。」病証に基づく治療方針として適切なのはどれか。

1. 肝陽の高ぶりを抑える。
2. 胃の気を降ろす。
3. 固摂作用を高める。
4. 湿痰を除く。

東洋医学臨床論

139. 「33歳の女性。疲労しやすく、抑うつ状態が続いている。肩こり、食欲不振を伴い、最近では早朝覚醒がみられる。他に時々喉が詰ったような違和感がある。舌は薄白苔、脈は弦脈を呈した。」本症例でみられやすい腹診所見はどれか。

1. 臍下不仁
2. 腹皮攣急
3. 胸脇苦満
4. 小腹急結

東洋医学臨床論

140. 「33歳の女性。疲労しやすく、抑うつ状態が続いている。肩こり、食欲不振を伴い、最近では早朝覚醒がみられる。他に時々喉が詰ったような違和感がある。舌は薄白苔、脈は弦脈を呈した。」病証に基づいた治療方針として適切なのはどれか。

1. 瘀血を除く
2. 気滞を除く
3. 血を補う
4. 津液を補う

東洋医学臨床論

141. 古代九鍼で関節水腫の排液に用いられたのはどれか。

1. 長鍼
2. 大鍼
3. 鋒鍼
4. 鈹鍼

鍼理論

142. 刺入した鍼の深度を変化させる術式はどれか。

1. 屋漏術
2. 示指打法
3. 振せん術
4. 内調術

鍼理論

143. 抜鍼困難時に用いるのはどれか。

1. 随鍼術
2. 副刺激術
3. 回旋術
4. 鍼尖転移術

鍼理論

144. 特殊鍼法で水平刺するのはどれか。

1. 小児鍼法
2. 散鍼法
3. 灸頭鍼法
4. 皮内鍼法

鍼理論

145. 刺鍼による気胸発生のリスクが最も低い経穴はどれか。

1. 天宗
2. 欠盆
3. 胸郷
4. 神堂

鍼理論

146. 単回使用鍼の滅菌に用いられるのはどれか。

1. 酸化エチレンガス
2. ポビドンヨード
3. グルコン酸クロロヘキシジン
4. 塩化ベンザルコニウム

鍼理論

147. 鍼刺激とその反応との組合せで正しいのはどれか。

1. 雀啄術による響き——B線維の興奮
2. 鋳鍼刺激——高閾値機械受容器の興奮
3. 管散術による刺激——A δ 線維の興奮
4. いちよう鍼による擦過刺激——ポリモーダル受容器の興奮

鍼理論

148. 内因性オピオイドはどれか。

1. ニューロトロフィン
2. GABA(ガンマアミノ酪酸)
3. ダイノルフィン
4. ドパミン

鍼理論

149. 刺鍼により起こる軸索反射について正しいのはどれか。

1. 内因性オピオイドが関与する。
2. 反射中枢は脊髄にある。
3. 血漿が漏出する。
4. A β 線維の興奮によって起こる。

鍼理論

150. 「内部環境」という用語で恒常性について述べた人物はどれか。

1. ノーバート・ Weiner
2. クロード・ベルナール
3. ウォルター・キャノン
4. ハンス・セリエ

鍼理論

151. 艾の製造過程で細かな不純物を除去する用具はどれか。

1. 裁断機
2. 石臼
3. けんどん(長唐箕)
4. 唐箕

灸理論

152. 粗悪艾の特徴で正しいのはどれか。

1. 繊維が細かい。
2. 乾燥している。
3. 燃焼時の最高温度が低い。
4. 燃焼時間が長い。

灸理論

153. 施灸部の組織を破壊する目的で行う灸法はどれか。

1. 知熱灸
2. 透熱灸
3. 焦灼灸
4. 押灸

灸理論

154. 艾を使用する灸法はどれか。

1. 漆灸
2. 塩灸
3. 水灸
4. 紅灸

灸理論

155. WHOのガイドラインにおいて有痕灸を避ける部位にある経穴はどれか。

1. 承泣
2. 兪府
3. 長強
4. 労宮

灸理論

156. 半米粒大の施灸で灸痕の化膿を防止する方法として正しいのはどれか。

1. 痂痂を搔破する。
2. 水疱を搔破する。
3. 硬い艾炷を使用する。
4. 同一点に施灸する。

灸理論

157. 施灸に際して行う患者の皮膚消毒で正しいのはどれか。

1. ラビング法で行う。
2. 施灸前後に行う。
3. 薬剤は次亜塩素酸ナトリウムを用いる。
4. 施灸部位を往復しながら清拭する。

灸理論

158. 灸による温熱刺激の受容・伝導について正しいのはどれか。

1. 熱刺激で開くイオンチャネルが関与する。
2. II群線維により伝導される。
3. 腹側脊髄視床路を上行する。
4. 温度感覚は順応が起こりにくい。

灸理論

159. 足三里穴に施灸して胃の機能が改善したとき 関与したと考えられる反射はどれか。

1. 軸索反射
2. 深部反射
3. 内臓-体性反射
4. 体性-自律神経反射

灸理論

160. 無痕灸による局所炎症反応でみられるのはどれか。

1. 血管透過性低下
2. 血流量増加
3. 組織の変性
4. 白血球数減少

灸理論

解答

医療概論

1	4
2	1

衛生学

3	1
4	3
5	2
6	4
7	2
8	2
9	2
10	1

関係法規

11	3
12	4
13	1
14	3

解剖学

15	4
16	2
17	3
18	2
19	4
20	2
21	3
22	4
23	1
24	3
25	3
26	1
27	4
28	4
29	2
30	3

生理学

31	4
32	3
33	1
34	4
35	3
36	3
37	1
38	1
39	2

40	4
41	1
42	3
43	3
44	2

病理学

45	2
46	2
47	1
48	3
49	1
50	3
51	4

臨床医学総論

52	2
53	2
54	4
55	1
56	3
57	4
58	3
59	1
60	1
61	2

臨床医学各論

62	4
63	3
64	3
65	3
66	3
67	1
68	2
69	1
70	4
71	3
72	1
73	4
74	1
75	2
76	4
77	3
78	1
79	34
80	1

81	3
82	2
83	1

リハビリテーション医学

84	1
85	1
86	2
87	2
88	4
89	3
90	3
91	4

東洋医学概論

92	2
93	3
94	1
95	4
96	2
97	4
98	3
99	2
100	2
101	3
102	1
103	3
104	1
105	4

経絡経穴概論

106	2
107	4
108	1
109	4
110	4
111	3
112	1
113	3
114	3
115	2
116	1
117	1
118	2

東洋医学臨床論

119	4
120	1

121	1
122	3
123	2
124	4
125	4
126	2
127	3
128	1
129	3
130	2
131	1
132	2
133	3
134	2
135	4
136	3
137	1
138	4
139	3
140	2

鍼理論

141	2
142	1
143	2
144	4
145	1
146	1
147	4
148	3
149	3
150	2

灸理論

151	4
152	4
153	3
154	23
155	1
156	4
157	2
158	1
159	4
160	2